

平成29年度 かりんの家事業報告

(1) 特別養護老人ホームかりんの家 (地域密着型介護老人福祉施設)

『総括』

開設 5 年目を迎えた特別養護老人ホームにおいては、入居率年平均 99.7%、平均介護度は要介護度 4.2 と徐々に高まり、入居者お一人おひとりに合わせた個別ケアの充実がますます重要になってきた。入居者全員揃っての企画参加や外出と共に、その方のご状態やご家族との関わりを焦点とした個別の企画・個別外出を例年以上に実践してきた。

また、重度化に対応できる介護力の底上げとして専門家を講師に招き、スキルアップを主目的とした研修内容の充実と見直しを実施し、看護師の配置に注力し看取り体制の強化を図りました。口腔ケアや食に関する重度化への対応として訪問歯科の導入や栄養ケアマネジメントを継続実施し、入居者がより安全に安心して生活していただけると評価している。

職員の定着率も安定し、新入職員に対する OJT 研修の仕組みや根拠ある職員育成を進めました。併せて、会議体や会議内容の見直しを実施したことにより、リーダー力の定着はもとより、全体に情報の共有化を図ることができた。

地域との関わりにおいては、これまで培われた地域と法人の協力体制から更に一步踏み込んで、大岩三区との災害協定の具現化するために災害協定の運用マニュアルを完成させ、地域の要介護者を支えることを、施設と地域で共有することとなった。また、施設からの地域貢献活動の一助として、地域からの依頼により、「認知症についての講座」を開催しました。地元富士宮東高等学校福祉課における認知症サポーター養成講座も例年に引き続き講師を受託し、中高生の福祉体験も積極的に受け入れた。これらの小さな種蒔きが、地域の福祉力の強化や将来の福祉人材の輩出に寄与できることを願う。

総じて、今年度の取り組みは次年度に引き継がれ、更なる個別ケアとユニットケアの深化、そして地域と協同し歩んでいく信頼される施設であり続けたい。

『ユニット目標実践結果・評価』

1. 一番館

平成 29年度ユニット目標

- 安全なサービスの提供
- 生活リズムを尊重しその方に合った暮らしができるように努める。
- ケアプランの共有と介護方法の統一

入居者を中心に捉え、ケアの方向性の統一化のために、職員同士の声掛け、助け合い、情報共有の強化を目標設定の背景とし実践してきた。家族を含めたケアプランの実践や、事故報告書等からの改善策評価のためのモニタリング活用が増え、職員が提供するケア内容の根底にケアプランが位置づけられていることの認識強化に繋がった。

2. 二番館

平成 29年度ユニット目標

- 暮らしの中でその方を大切にします。
- 自立支援の為の質の良いケアを目指します。
- 生き生きとした職場作りをします。

入居者の重度化により業務主体となってきた状況をチームワークで乗りきること、そのために笑顔での職員間のコミュニケーションに焦点を充て、活気のある職場を作り、入居者の暮らしを大切にすることを目標に設定した。重介護が職員の身体的負担に繋がっていることもあり、入居者の個別化の視点に繋がる排泄介助の適正化に着手した。個々の排泄パターンの把握によるオムツの見直しと介助時間の改善により、入居者にとっては安眠を、職員にとっては介助量の減少により、排泄介助以外のケアの充実を図った。

ケアの分析や評価を行うことの重要性を理解したことにより、効率化や改善点が発見できる視点を得られたことは大きな成果であった。今後は更に二番館ならではのユニットケアとは何かを掘り下げ、入居者の生活を支える創意工夫を進めていく。

3. 三番館

平成 29年度ユニット目標

- 責任意識の向上

職員個々の観察力や気づきの向上と共に責任意識を併せて向上させることが、介護力を高めることに大きく寄与することと考え、今年度は目標設定を行った。責任への意識が高まることにより、事故の原因分析の

視点に対する気づきの強化が図られ、併せて原因と対となる対応策として、介護マニュアルや記録の見直しを行うことができ、業務に対する責任意識が伴ってきている。研修の参加率も、前年に比べ大幅に増えており、個別の入居者を対象とした個別企画も多く実行された。

一方、研修参加後の実践への活かし方も改善の余地が見られ、伝達講習も工夫はまだ弱く、同じ質のケアを提供・継続できるチームケアの実践が次年度への課題となっている。

『入居状況』

ケアアセスメントやモニタリングの強化が必要であり、次年度はアセスメント及びモニタリングの見直しを実施したい。サービス担当者会議については半年に1回以上の開催は行われているが、開催日程が計画的ではないこともあり、次年度への課題としておきたい。不定期のミニカンファレンスの開催強化により、多職種協働のカンファレンスを充実させることも次年度へ向けて引き続き努力することとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均入居者数(人)	27.9	27.8	28.0	28.0	27.9	28.0	28.0	28.0	28.0	27.7	28.0	27.8	27.9
入居率(%)	99.8	99.4	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	99.9	100.0	98.8	100.0	99.2	99.7

『活動状況』

年間計画に基づき、特別養護老人ホームとしての企画・イベント、かりんの家として小規模多機能と合同での企画・イベントを下段のとおり実施した。研修参加状況については別添1「平成29年度かりんの家年間研修実績」を参照。

＜主な年間行事・企画実施状況＞

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画・イベント	お花見 いちご狩り	かりん祭りの日 母の日	父の日 家族会	七夕 流しそうめん	大岩三区の 夏祭り	敬老会	紅葉狩り 運動会	紅葉狩り	クリスマス会 餅つき	初詣 どんどん焼き	節分	ひな祭り

(その他)

- 入居者の誕生日に誕生日会を実施
- 運営推進会議を偶数月(年6回)開催
- 厨房による手作りおやつを楽しむ「かりん庵」を毎月1回開催

(2) 小規模多機能ホームかりんの家 (小規模多機能型居宅介護事業所)

『総括』

前年度平均登録者数20人に対し今年度は平均登録者数15.8人となった。職員の定着律向上や研修参加率は引き続き増加しており、今後登録者を増やすことへの基礎は整っている。

地域との関係強化としては、運営推進会議での地域住民の声やアンケート結果に対し真摯に耳を傾け、かりんの家の高齢者介護の専門機能を地域に発信する機会および施設に気兼ねなく入りやすい機会の創設として、「ゆずかりんカフェ」を今年度も企画・開催した。隣接施設ゆずの家と協同により、どなたでも来所して構わず、お喋りやレクリエーションをし、お茶を飲みながら楽しい一時を過ごしていただく「ゆずかりんカフェ」を毎月開催した。回を重ねる毎にカフェの時間に訪れてくださる方も増え、次年度の脳トレカフェの受託に繋がったと評価している。

『部門目標実践結果・評価』

1. 小規模多機能

平成29年度部門目標

- 個別ケアの充実

○スキルアップとチーム力向上

○地域社会との協同

個別ケアの向上として、個を捉えた介護力を全体として底上げしていくことを目指し、目標設定をした。同時にスキルアップし、チーム力を高めることを目指した。地域との関係は良好であるが、個別事業所としての協同も目指した。結果として、利用者本位のための職員同士の意見交換は進展されたと評価している。更なる個別処遇の充実のために、スキルアップは引き続き継続していく。また、ケアプランの充実や職員指導のためのOJTツールの見直しに着手する。

『利用状況』

<利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数(人)	17	15	15	16	17	18	16	15	15	15	15	15	15.8
内 訳													
要介護1	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2.0
要介護2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	5	5	4	3.7
要介護3	4	3	3	2	2	3	3	2	2	2	3	4	2.8
要介護4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.6
要介護5	3	3	3	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2.8

『活動状況』

年間計画に基づき、多機能かりんの家単体として、また特別養護老人ホームと合同での企画・イベントを下記のとおりに実施した。尚、研修参加状況については別添1「平成29年度かりんの家年間研修実績」を参照。

<主な年間行事・企画実施状況>

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	桜花見ドライブ	バラ花見 かりん祭り 母の日	父の日	七夕 流しそうめん	敬老会	小規模運動会	紅葉狩り 文化祭展示	餅つき クリスマス会	どんどん焼き	節分	ひな祭り

(その他)

- 利用者の誕生月に誕生日会を実施
- 運営推進会議を偶数月(年6回)開催
- 厨房による手作りおやつを楽しむ「かりん庵」毎月1回開催
- 手作りおやつの日を毎月実施

月	研修名称	開催時間	講師	内容	参加者数
4	かりんの家事業計画、キャリアパス、コンプライアンスについて	17:00-18:00	施設長	H29年度恩心会の事業計画ならびにかりんの家行動計画、キャリアパス等の説明により組織理解と一体感を高め、また、法令遵守の視点と接遇対応について理解した。	5
	介護技術講座① ～正しい食事介助の姿勢・嚥下の理解～	17:00-18:00	富士地域リハビリテーション広域支援センター	正しい食事接種・介助の考え方(姿勢、嚥下のメカニズム、食事携帯)について実技演習により習得した。	4
5	防災教育(AED・心肺蘇生法の習得)	17:00-18:30	消防署	AEDの使用法の確認と心臓マッサージの方法について習得した。	4
	介護技術講座② ～正しい口腔ケアの必要性～	17:00-18:30	医療法人社団高輪会 歯科医師	高齢者の特性理解に基づく正しい口腔ケアと誤嚥性肺炎のリスクと防止について理解を深めた。	5
	とろみの活用と嚥下の理解	17:00-18:00	ニュートリー	個々の状態に合わせたとろみの活用と嚥下の理解と適切なとろみ使用による食事の活性化と嚥下のメカニズムを理解を深めた。	3
6	正しいオムツのフィッティングと排泄ケア時の留意点	17:00-18:00	ユニ・チャーム ケアアドバイザー	オムツの特性に基づくオムツ介助の理解と使用方法ならびに尿量・体形・生活リズム等に合わせたオムツの適切な選択と排泄介助の適正化と排泄ケアにおける感染予防を学んだ。	4
7	緊急時の対応と記録	17:00-18:30	管理者 介護長	利用者の急変時の初動対応について事例をもとにロールプレイを行いながら、実際の緊急場面に適切に動けることまた、その際の記録の残し方、記録の重要性を学んだ。	6
8	記録とケアプラン	17:15-18:15	介護長 生活相談員	ケア提供の記録についてケアの見える化や根拠として重要であることを学び、現記録の評価をしながら記録におとすべき内容について検討及び確認した。	3
	褥瘡予防と体交の原理・ポイント理解	17:15-18:15	ケーブ	褥瘡ができるメカニズムを理解し、それに基づいた体圧分散・圧を抜く等の体交の手法やポジション、座る際の正しい姿勢保持などを学んだ。	3
9	認知症の理解（事例検討）	17:15-18:15	多機能管理者	BPSDの理解と事例を通じた認知症の方の個別理解をグループワーク等を取り入れながら理解の大切さを学んだ。	3
	介護技術講座 ～正しい食事介助の姿勢・嚥下の理解～	17:15-18:15	富士地域リハビリテーション広域支援センター	正しい食事摂取・介助の考え方(姿勢、嚥下のメカニズム、食事形態)を習得した。	3
10	権利擁護・虐待防止・身体拘束廃止・プライバシー保護について	17:15-18:15	生活相談員	身体拘束の考え方と日常のケアにおける拘束の注意喚起、個人情報漏えいの怖さ等の理解と情報管理の徹底を学ぶ。	4
11	感染症予防(嘔吐物処理)	17:15-18:15	看護師	季節性感染症(感染性胃腸炎、インフルエンザ)を主とした感染症の基本理解と感染防止のための嘔吐物処理の正しい手技について学んだ。	4
12	高齢者に多い疾患について	17:15-18:15	施設長	高齢者が罹りやすい疾患について、対応方法と予測について学んだ。	9
1	接遇の大切さ・おもてなしの心	17:15-18:15	ユニットリーダー	かりんの家で大切にしたい接遇について接遇のポイントや良い接遇・悪い接遇を伝達しグループワークにて学んだ。	7
	事故発生の危険予測と再発防止の取組について	17:15-18:15	施設長	介護上の事故の危険を予測すること、再発を防止する技術を習得する。	12
2	高齢者虐待防止について	17:15-18:15	施設長	簡単に起きやすい高齢者の虐待について、日常業務の中から例を挙げて検討した。	6
	看取りケア	17:15-18:15	看護	これまで関わった看取りケアに基づく事例検討を行いかりんの家で看取ることについて学んだ。	7
3	在宅に於ける虐待防止	17:15-18:15	根北相談員	自宅に於ける高齢者への虐待について事例を交えながら検討した。	3
	ストレスケアに関する研修	17:15-18:15	施設長	職場におけるストレスの発生と自身で行うストレスケアの理解について学んだ。	2

【その他研修】

月	研修名称	開催時間	講師	内容	参加者数
適宜	新人研修	9:30~11:30	理事長	恩心会に入職した職員に対する法人の理念、介護観、法令遵守等の視点を座学により伝達し、法人や介護・福祉に対する基本的姿勢を習得	5
隔月	リーダー研修	ユニットリーダー 会議時に開催	施設長	ユニットリーダーに必要なリーダーシップ、マネジメントシップ等についてコーチングと課題提出により習得	3
4半期	プリセプター研修	16:30-17:30	施設長	中堅職員による新入職員への指導・相談支援等のプリセプターシップを身につけることを目的とし、その過程において意図的・段階的・系統的な指導を行うことの大切さを習得	4

平成29年度 かりんの家(共通) 行事報告

開催日時	曜日	実施行事	内容・目的	担当	
4	初旬	いちご狩り	各ユニット毎にいちご狩りを実施。スイーツを楽しむ。	各ユニット	
5	3	水	大岩堤祭り	大岩堤祭式典に参加。	相談員・管理者
	5	金	端午の節句 菖蒲湯	玄関に五月人形を飾り季節を楽しむ	各ユニット・厨房
	14	日	母の日	ユニットごとにプレゼントを用意し、感謝の気持ちを表した。	各ユニット
	中旬		薔薇見学	薔薇見学を富士市薔薇公園にて二回に分けて行った。	多機能
	21	日	かりん祭	ご家族、地域関係者を含め200人を超える方が参加した。	行事委員会
6	18	日	父の日	ユニットごとにプレゼントを用意し、感謝の気持ちを表した。	各ユニット
	23	金	小規模多機能見学会	関係者・地域住民等に小規模多機能の利用方法を説明した。	施設長・管理者・CM
7	7	金	七夕	笹に飾り付けをし、各ユニットに飾り季節を楽しんだ。	各ユニット
	25	火	土用の丑	昼食メニューにウナギを付け、季節を楽しんだ。	厨房
	29	土	大岩3区納涼祭	大岩3区納涼祭へ参加、かき氷等を提供した。	相談員・管理者
9	18	土	敬老会	利用者様の長寿と健康を、ご家族と一緒に祝いした。	行事委員会
	18	月	大岩三区敬老会	小規模多機能ホームかりんの家から参加し、演芸等楽しんだ。	相談員・管理者
10	4	水	十五夜	ユニットごとにススキなどを飾り、季節を楽しんだ。	各ユニット・厨房
	29	日	大岩三区文化祭	入居者作成の作品を出展し参加した。	相談員・管理者
	下旬		体育祭	各ユニット毎に企画・実施し、楽しんだ。	各ユニット
11	上旬		紅葉狩り	各ユニット毎に白糸の滝及び西臼塚公園にて実施	各ユニット
	下旬		寿司バイキング	お寿司をバイキング形式で楽しんだ。	厨房
12	22	木	冬至 ゆず湯	ゆずを浴槽に入れ、香りを楽しんだ。	各ユニット・厨房
	23	土	クリスマス会	クリスマスツリーを飾り、ケーキを食しながら行った。	行事委員会
	30	土	餅つき	地域の方、ゆずの家と一緒に餅をつき、皆でおいしく頂いた。	相談員・管理者
	31	日	大晦日 年越しそば	大晦日の夕食にそばを提供し、年越しそばを楽しんだ。	各ユニット・厨房
1	1	月	おせち料理	元旦の朝におせち料理を戴きながら、正月を祝った。	厨房
	上旬		初詣	ユニットごとに浅間大社へ初詣に出かけた。	各ユニット
	7	日	七草がゆ	昼食に七草を散りばめたメニューを楽しんだ。	厨房
	11	木	鏡開き	餅と館を使ったメニューでおやつとして楽しんだ。	厨房
	14	日	どんどん焼き	大岩三区実施のどんどん焼きに参加、お菓子等を戴き楽しんだ。	相談員・管理者
2	3	土	節分 恵方巻	昼食にお寿司を提供し、季節を楽しんで頂く。	各ユニット・厨房
3	3	土	雛祭り	玄関に雛段を飾り、昼食にお寿司を食べながら季節を楽しんだ。	行事委員会

【その他定期開催企画】

開催日時	曜日	行事	内容・目的	担当
毎月最終(金)		かりん庵	厨房の手作りスイーツの提供とユニットを喫茶風にして実施。	厨房・各ユニット
毎月第三(木)		脳トレカフェ〜ゆずかりんカフェ〜	認知症予防の脳トレとおしゃべりとお茶による交流を実施。	多機能・管理者・CM
お誕生日月		お誕生日企画	利用者様のお誕生日をユニット毎に企画しお祝いした。	各ユニット
偶数月第二(月)		運営推進会議	隔月に実施。苦情受付や事故報告について活発な意見が出された。	管理者
毎週木曜日と不定期に実施		ボランティア様との交流	将棋をはじめ、唄などのボランティア様の来訪により実施。	相談員

※ 上記以外に第一・第三(木)をお達者体操・歌声広場として実施計画が有りましたが、介護度が上がり、休止している。